

10 月 10 日：底値拾いの買いを受けて、VN 指数は反発

週明けのベトナム市場は底値買いにより、上昇して取引を終えた。しかし引き続き投資家の売りも見られ、上昇は限定的だった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.63% (6.57 ポイント) 高の 1,042.48 ポイントで取引を終えた。午後の取引も引き続き大きく下げていたが、底値拾いの買いも見られ、指数を押し上げた。

騰落別では 208 銘柄が上昇、124 銘柄が下落した。しかし出来高は引き続き低水準で、売買代金は前日比 38.6%減の 9 兆 8,000 億ドン (4 億 1,260 万米ドル)、売買高は 5 億 4,200 万株となった。

VN30 指数は 0.06% (0.61 ポイント) 安の 1,038.93 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、17 銘柄が上昇、10 銘柄が下落、そのうち 1 銘柄がストップ安をつけた。残りの 3 銘柄は変わらずだった。

値上がり寄与度の上位 5 銘柄にはペトロベトナムガス (GAS) +3.92%、モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) +5.74%、ホアファットグループ (HPG) +4.26%、ベトナム投資開発銀行 (BID) +2.74%、ヴィエティンバンク (CTG) +3.76%が含まれた。

他の魅力的な業種の大型株もマーケットの上昇を支えた。主な値上がり銘柄には、ビナミルク (VNM) +1%、ベトナムゴム工業グループ (GVR) +1.81%、ドゥックザン化学 (DGC) +6.98%、ペトロベトナム・カマウ肥料 (DCM) +6.96%が含まれた。

しかし売りが続き、上値が抑えられる場面も見られた。銀行、製造業、不動産、輸送セクターは大きく売られた。ベトコムバンク (VCB) は、2.4%安とマーケットの下げをけん引した。ノバランド不動産投資グループ (NVL)、テクコムバンク (TCB)、サイゴンビール・アルコール飲料 (SAB)、TP バンク (TPB)、マサングループ (MSN)、ベトジェット (VJC) も軟調な値動きとなった。

ハノイ市場の HNX 指数は前日までに 2 日続落していたが、本日は上昇して取引を終えた。同指数は 1.66% (3.76 ポイント) 高の 229.85 ポイントで引けた。

外国人投資家も足元の下げを拾いに行った。ホーチミン、ハノイ市場で合わせて 6,193 億 6,000 万ドンを買い越した。買い越し額は、ホーチミン市場で 5,788 億 6,000 万ドン、ハノイ市場で 405 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。